

令和元年度 あおぞらなないろ園学校関係者評価報告書

令和元年度 幼保連携型認定こども園あおぞらなないろ園における学校関係者評価結果

○調査対象:保護者(施設アンケート結果76人)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果30名

事務・短時間職員を含む)上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設

見学による、学校関係者評価委員4名(1名欠)の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・概ね良いが一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価 (訪問日)2/7 (評価者)学校評価委員4名(1名欠)			
		コメント: (○成果 ▲課題)	3段階評価	今後の取り組むべき課題	
1	教育・保育目標について	子供達の姿を踏まえた教育・保育目標、認定こども園としての重点目標が設定されていますか。	○目標と重点項目がはっきりと見える説明がありました。特に「食」を大切にしていることもよく分かりました。 ○保護者の評価から、満足度が推しはかれました。 ○保護者からの声に対して、すぐに対応できていて良いと思いました。また、すぐに対応できない物に対しては、しっかりと説明されていて良いと思います。 ▲全体的な計画をもとに、全職員の共通理解を図りながら、実践して行ってほしい。	A	●35年間のあおぞら乳児園での歩みを土台にしながら、散歩(地域、自然)、ラグビー活動(4・5歳児)、食育体験等を大切に、これからも取り組んでまいります。 ●全職員での検討を積み重ねながら計画を進め、共通理解を図り実践してまいります。
		目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
		目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		B 0%	
2	教育・保育に対する指導について	日頃の活動は「指導計画」を基に実践しておりますが、子供達の成長発達に即した活動が見られていますか。	○五感を生かし、本物にふれることを大切に活動に感心しました。今の子どもたちに、とても必要なことだと思います。 ○そのクラスに合わせた先生方の工夫がすごいと思いました。 ○子供達の意味をととても良く尊重されていると感じました。	A	●田園に囲まれ、山々や電車が見え、たくさんの草花と小動物に出会える自然豊かな環境の中で、乳児から就学前までの子供達が、生き生きと生活できるように、必要な体験を積み重ねてまいります。
		園内は、環境の構成を意識した活動が実践され、指導の方法や過程が工夫されていますか。		100%	
		教材・教具を適切に活用し、創意工夫していますか。		B 0%	
3	行事について	園全体の行事は参加しやすいように日程などが配慮されていますか。(夏祭り、運動会、親子お楽しみ会等)	○R2年度は年長組と小学校との連携の機会が生まれると思います。 ○兄弟の日程によっては、重なってしまう事も仕方ないかと思えます。 ▲他の学校、園との日程が重なることがあるので、厳しいとは思いますが配慮してほしい時があります。	A	●異年齢の子供同士が、活動時間や活動場所を工夫しながら関わることにより、互いの存在に気づき、自然な交流が生まれるようになってきました。四ツ小屋小学校や地域の皆さんとの交流に、期待感を持ちながら当園からの発信についても、計画を進めていきたいと考えています。 ●法人全体でのバスの使用と、園全体の行事やクラス毎の計画を調整したうえで、近隣の学校や他園の行事をできるだけ考慮しながら企画できるように進めてまいります。
		行事のねらいを計画や実施に十分生かしていますか。		75%	
		保護者の願いや意見を取り入れていますか。		B 25%	
				C 0%	

評価項目	領域	学校関係者評価（訪問日）2/7 （評価者）学校評価委員4名(1名欠)			
		コメント：（○成果 ▲課題）	3段階評価	今後の取り組むべき課題	
4	体制・学級経営・保健安全指導について	職務内容が明確で、協働できる体制になっていますか。	○施設の造りが、異年齢の子どもたちの交流が図られるようになっているため、自然と職員の方々の協働体制ができるものと思いました。 ○防犯・防災への対策にもよく配慮されていると思います。 ○学年が違う先生方も、他の子供達の名前を憶えてくれていてすごいと思いました。 ○看護師さんを2人配置されているのはとても安心できると思います。 ○毎月避難訓練があると、子供達も自然に身について良いと思いました。 ▲不審者対応の避難訓練は、是非実施してほしい。マニュアル等も作成し、全職員の共通理解を図ってほしい。 ▲毎月の避難訓練の実施、ご苦労様です。避難場所（なんぴあ等）への訓練も考えてみてはどうでしょうか。	A	●開放的な新園舎は、子供達にとって好奇心が湧くような設計工夫があり、子供達が思い思いのイメージを持ちながら生活しております。更に伸び伸びと生活できるような工夫をしまいにります。 ●職員間で様々な情報を共有しつつ協力し合いながら、子供達や保護者が安全に、安心して、利用できる施設であるよう尽力をまいにります。 ●防災・防犯訓練については、現在ある対応マニュアルを全職員で必要に応じて改善、確認しつつ進めていきたいと考えております。
		職員の配置は適材・適所ですか。		75%	
		同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実が図られていますか。		B	
		学年・学級経営に生かされるような具体的な保健対策を講じていますか。		25%	
		避難訓練・交通安全指導等は適切に実施されていますか。		C	
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っていますか。		0%	
		乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っていますか。			
5	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報情報を適切に取り扱っていますか。	○施設・設備が充実しており、整理・整頓も行き届いていると感じました。 ○クラス内の環境については、先生方の工夫もあり過ごしやすと思います。 ▲デジカメコーナーのコメントがもう少し大きい文字だと、祖父母世代はうれしいかもしれません。 ▲掲示物の字の大きさを、もう少し大きくわかりやすくしてほしいと思いました。 ▲遊具等の整備につきましては、来年度以降ということで期待したいと思います。	A	●保護者へ周知するための情報や写真の掲示等については、掲示場所の状況等を考えながら、読み手の立場に立って、より見やすく、読みやすい大きさを考え対応をまいにります。 ●遊具等の整備につきましては、令和2年度から計画的に進めてまいにります。
		遊具・用具・図書等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		75%	
		掲示版、掲示場所等は分かりやすく活用されていますか。		B	
				25%	
6	家庭・地域社会との連携について	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流していますか。	○乳児園の時に遊んでいた公園に行ったりと、子供達の関心が地域にも向いてきていると思います。 ○小学生の職場体験にご協力いただきありがとうございます。 ▲地域との連携は、まず地域を知ることだと思います。散歩等での職員や子供達の元気なあいさつがその一歩だと思います。 ▲もう少し地域の方々との交流があると良いと思います。	A	●当施設の特徴ある保育の一つである「散歩を主とした戸外に出て自然と関わる活動」をより一層行っていき、地域の皆様との関わり(挨拶や会話等)を大切にしながら、関係性を強めていき地域社会との連携を先ずは築いてまいにります。
				75%	
				B	
				25%	
				C	
	0%				

今年度より、幼保連携型認定こども園として運営がスタートし、初めての学校関係者評価を実施させて頂きました。現時点における自分達の状況を先ずは把握していく事、そしてその状況を各評価項目に落とし込み、今後どういった部分に焦点を当てながら取り組んでいかなければならないかを知る機会となりました。評価の結果を職員間で共有しつつ今後協議していき、地域社会に認められる・求められる施設となって行けるよう、職員と共に邁進してまいりたいと思います。大変お忙しいところ、今回の学校関係者評価にご参加いただけました評価者の皆様、本当にありがとうございました。

園長 上村 清正